

2017年3月6日

株式会社電通デジタル

## 電通デジタル、オンライン上の顧客行動が 来店に与える効果を包括測定するサービスを提供開始 —国内初の広範囲・高品質な行動データ計測によるカスタマージャーニー分析—

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：樽谷 典洋）は、位置情報を活用したマーケティングプラットフォームを保有するインターネット広告事業者シナラシステムズジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：アレックス・ジニン、以下「シナラ」）との協業により、ウェブ広告への接触や自社サイトへの来訪が、店舗への来店・購買に与える効果を包括測定するサービスを開発し、本日より提供を開始します。

本サービスで実現する、匿名化した個別の顧客単位でオンラインと店舗を横断した広範囲・高品質な行動データの計測は国内初<sup>※1</sup>の取り組みとなります。また、本サービスのテストマーケティングとして、大手自動車および消費財メーカーにて試験導入をし、取得データの精度の高さが実証されました。これまでにない効果的なカスタマージャーニーの分析が可能になります。

かつて、ウェブ広告における効果検証の大半はオンライン上の行動の測定のみにとどまってきました。そのため、最終的に店舗で購買が完結する業態のクライアント企業からは、オンラインと店舗の顧客行動を紐づけできる、包括的なコミュニケーション効果の測定が強く求められてきました。しかし既存の手法では、オンライン上で紐づけ可能な行動が個別の検索エンジンやSNSのみに限定されていたり、調査会社の保有モニターを利用した分析では自社ブランドに関するサンプル数が十分に確保できないなど、そのニーズに対して十分に応えられるサービスが存在しませんでした。

今回提供する新サービスは、ウェブ広告全般や自社サイトなど、タグを埋め込むことが可能なすべてのオンライン上の行動を横断して計測できることが特徴であり、これによって、オンライン上のカスタマージャーニーと店舗への来店データを、十分に匿名化した上で個別の顧客単位で連結することが可能になりました。さらに、顧客の来店行動の計測にはシナラのパートナー企業の持つ月間1,000億イベント<sup>※2</sup>を超える大量のWi-Fiデータを用いており、かつシナラ独自の検知技術で信頼性の低いデータを排除することで、量と質の両面で高いデータ品質を実現しています。

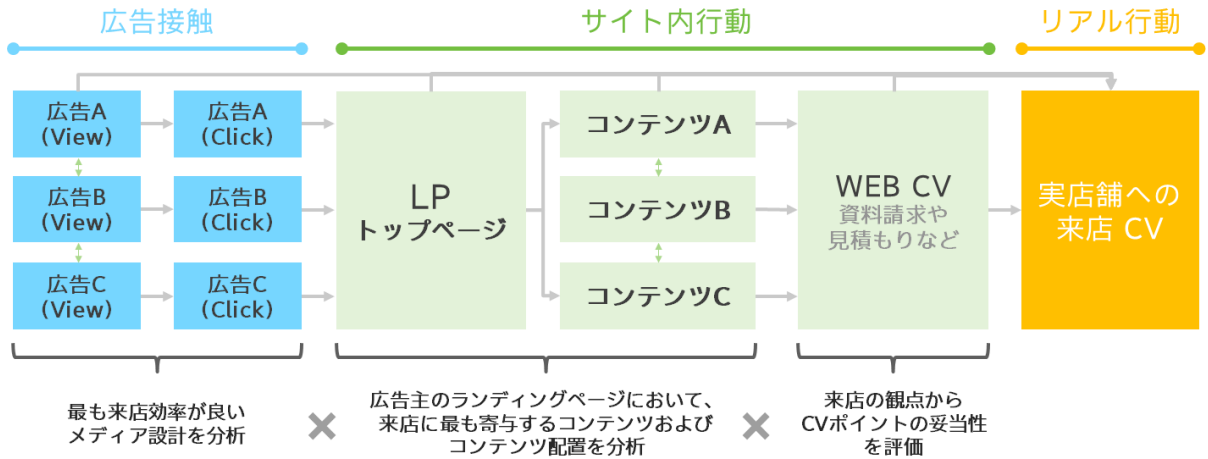
電通デジタルとシナラはこれらの行動データの分析を通じ、店舗への来店促進に効果的なウェブ広告の検証や、来店貢献効果のモデル化に向けた取り組みを進めるとともに、位置情報データを用いたこれまでにないソリューションの開発を推進していきます。

※1 自社調べ

※2 Wi-Fiによる位置情報の延べ検知件数を指します

<新サービスの概要>

広告配信から来店コンバージョンまでのカスタマージャーニーを分析



<シナラシステムズジャパン会社概要>

会社名：シナラシステムズジャパン株式会社

本社所在地：東京都港区芝公園 1-6-8 泉芝公園ビル7階

代表者：代表取締役 アレックス・ジニン (Alex Zinin)

事業内容：インターネット広告事業

URL：https://cinarra.com/ja/

以上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル 広報担当 中町・竜野 TEL：03-6217-6036

Email:press@dentsudigital.co.jp